

向秋の候、日頃から本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

今年の夏は、ここ近年の酷暑に比べ、暑さが和らぐ日が多い印象がある一方、熊本を中心とした地震をはじめ、千葉県や北陸地方などにおける線状降水帯の影響による災害のニュースが各地で報告されています。また、海外に目を向けてみれば、ネパールと中国（チベット自治区）の国境付近で発生した土石流災害など、多くの方々が被害に遭われたことを思うと、胸が締め付けられる思いがします。一人でも多くの命が救われることを心から願っています。

2学期は1年で最も長い期間を有するのみならず、中学校1・2・3学年のそれぞれで様々な校外学習活動や宿泊行事があります。自然とのかかわりを探究したり、大学の研究機関や企業を訪問するといった学びの機会がプログラムとして準備されています。今しかできない学びをぜひ成長のチャンスに換えてほしいと思います。

夏季学習合宿 @岩手山少年自然の家

9月17日（月）～21日（金）に岩手山少年自然の家を舞台に、夏季の学習合宿を実施しました。中学1年生にとってははじめての4泊5日間の宿泊学習であり、中学2・3年生にとっては、日常以上に学習と向き合い、学力のみならず学習習慣や授業・テストなどに挑む姿勢についても見つめ直す機会になったのではないかと思います。

1年間に2回（夏季および春季）にわたり実施する本校の学習合宿ですが、いつも同じ内容ではなく、進級するとともに、その学年の学習状況に合わせた学習プログラムをこなしていくことも本校の教育プログラムの特徴です。中学1年生は、はじめての学習合宿ということもあり、まずは自習への取り組み方を身につけたり、学習への動機づけになる授業や講話（やる気と行動学など）をおこなうなど、学習に取り組む姿勢をアップデートすることが目的でした。中学2年生は、特に数学は習熟度に合わせ、模擬試験の過去問などを活用しながら、基本と応用の確認をきめ細かく演習するなどの取り組みを実施しました。中学3年生は、英語と数学の基礎基本をそれぞれ10ステージずつにわけておこなう「パワーマラソン」という徹底反復型の（強力な）弱点克服企画を打ち出して実施しました。英・数の合計20ステージにそれぞれ5パターンの演習問題を準備して臨んだので、合計100パターンのプリントを使用し、採点や質問対応によって盤石な基礎力を身につけさせようという取り組みです。某〇〇式に近い部分もありますが、ひとり一人に合わせた個別指導ができたことによって、学習合宿の中にも切磋琢磨する空気感が生まれたのではないかと思います。



参加した生徒たちが書いてくれた夏季学習合宿の感想文を一部抜粋してご紹介します。

初めての学習合宿で学んだこと 学んだことを思い出しながら1日1日を大切に、まずはこの中学3年間を頑張りがち勉強していきなさいと思ひました。高校生になつて今を振り返つた時、今より自分が成長したと思へるやうに一日を過ごしていきなさいです。 (中学1年生)	努力を結果につなげるために 数学夏季休業確認テストで全問正解できました。時間が余り、テストの見直しでもう一度解くことができマイナスの付け忘れに気づくことができました。見直して、98点になるか100点になるか全然違ふと思ひました。 (中学1年生)	非日常の合宿を通して 学習時の集中力をのばせたり、学習の楽しさの再発見ができたたりしたので、とても良い合宿にすることができたと思ひます。そして、私はこの合宿で学んだことを普段の生活に生かしていき、志望大学に合格できるよう努力していきなさいです。 (中学2年生)
後悔を次につなげる合宿 私は今回の合宿で多くのことを経験できました。達成できた目標もあり、達成できず、悔いが残ってしまった目標もあります。しかし、悔しいまままで終わるのではなく、その悔しさをこれからの生活に生かしていきなさい。 (中学2年生)	学習合宿で学んだ心構え 最初に立てた最後まであきらめずに努力するという目標は、完璧ではないものの、達成することができたと思ひます。朝テストでは初めて一度も追試にならず、苦手だった基礎を復習することもできました。 (中学3年生)	基礎基本を武器にする 私はこの5回目の合宿を経験して、基礎の積み重ねの大変さを痛感しました。基礎的な知識などは常に完璧な状態にしておいて、これからの高校内容の勉強に力を入れて頑張つていきなさい。 (中学3年生)

2学期のはじまりー教室の外へ学びを開くー

2学期には、学びの場が教室の外へと大きく広がります。「湿原」という言葉を知っていることと、実際に尾瀬を歩き、風や水、植生を自分の目で確かめることは同じではありません。中学1・2年生は尾瀬・燧ヶ岳を訪れ、亜寒帯湿原の生態系に触れます。中学3年生は南蔵王で自然に親しみ、環境について考えるとともに、野外活動の中で、自分の役割を引き受けることの意味を学びます。

学びの行き先は、自然の中だけではありません。中学3年生は福島県立医科大学を訪れます。「地域医療」という言葉の向こう側には、実際に地域を支える人がいて、その道を志して学ぶ学生がいて、医療を育てる環境があります。さらに10月には、中学2・3年生が首都圏へ赴き、大学の最先端研究と、その成果を社会の中で形にしていくなさい企業を訪ねます。研究室で生まれた一つの問いが、どのような人々の手を経て社会へ届くのか。現場に立つことで、学問と社会との距離感も少し違つて見えてくるはずでふ。教室で知つた言葉に、実際の景色や人の顔や自分自身の経験が重なつていくなさい。そうして知識に手触りを与えていくなさいことなのかもしれません。2学期、生徒たちがどのような「本物」に出会い、何を持ち帰つてくるのか、楽しみにしていただければと思ひます。

《連絡事項》

- 9月9(水)～11日(金)にかけて中学1・2年生は尾瀬・燧ヶ岳登山となります。参加承諾書の提出が9月7日(月)までとなっております。日程や準備物などの詳細は、別途配布されているしおりをご覧ください。
- 9月10(木)・11日(金)は中学3年生が南蔵王にて林間教室を行います。参加承諾書の提出が9月7日(月)までとなっております。日程や準備物などの詳細については、別途生徒に配布されるしおりをご覧ください。
- 9月12日(土)は尾瀬・燧ヶ岳登山、林間教室直後となつており、中学生のみ生徒休業日となっております。
- 9月17日(木)は中学3年生が福島県立医科大学の医学部・保健科学部を見学します。
- 10月9(金)・10日(土)に中学2・3年生で東京地区大学見学研修会を実施します。日程や準備物などの詳細については、後日配布されるプリントをご覧ください。